

移住者新聞

2023
Vol. 3

二〇二三年十一月
発行：日田市
ひた暮らし推進室



令和4年7月に茨城県より移住した齊藤雄一郎さん夫妻。
市内で会社員をしながらレザークラフトの作品を制作し
日田市内のマルシェに出店している。
大好きな日田での暮らしを満喫している。

◆移住後の暮らし

日田に移住するきっかけは平成29年に転勤で日田に赴任したことで、キラキラの三隈川と山に囲まれた景色を愛でながら、趣味のロードバイクやドライブを楽しむ日々を過ごしました。一年で帰任となり、離れ難さのあまり「いつか日田に帰ろう」が夫婦二人の合言葉となるくら

に日田を好きになっていました。令和4年4月に東京で開催された相談会にオンラインで参加し、その3か月後には日田に移住しました。今は市内の会社に勤務しながら、大好きな日田での生活を満喫しています。山も川も綺麗で適度に田舎なので、暮らすにはちょうど良いと感じています。



平成29年祇園にも参加。
日田の祭りに参加し、ますます日田が好きになったそう

日田の方からは移住したら「ありがたい」と言ってもらえます。自分が茨城に住んでいた時、移住者にそんなことを思ったことはありませんでした。そこに日田の人の地元愛を感じます。

日田はマルシェや祭りが多く、顔を出しているような経験をしたり人との交流を楽しんでいます。祇園にも参加して楽しかったです。

江戸時代天領日田として栄え、古くから商人の町だった日田。令和になった現代でも日田駅前や天ヶ瀬・大山と各地でマルシェが開催され賑わっています。日田の特産品や盛り上げている人々に出会えるチャンスなので、行ったことがない人はぜひ行ってみましょう！
今号は、茨城県から移住した齊藤さん夫婦取材しました。

◆現在取り組んでいること

レザークラフト。以前よりモノづくりはしていて、ないものは自分で作ればいいし買うと高いと思えば独学で始めました。作品はレザーベルトのバックルから財布や名刺入れ、バッグなどを作っています。

イベントが好きで毎月のようにマルシェ等へ通ううちに顔見知りが増え、皮革製品の作家として出店する機会を頂きました。大山や日田駅前のマルシェで販売しています。最近では来場者からのオーダーメイドも増えてきました。



マルシェ出店時の様子



バックナンバーはこちら



◆おすすめの場所
天瀬町にある観音の滝がおすすめです。大分県内は原尻の滝・竜門の滝・桜滝などたくさん滝があり、観音の滝は派手ではなく小さいですが、中心部が観音様のように見え幻想的です。



レザークラフト作品の製作は非常に緻密で繊細な作業。一針一針丁寧に縫っていく。

◆今後の目標
日田弁を話せるようになりたいです。だいぶ意味はわかるようになってきました。未だに自分が話す時は標準語が出てきます。今後もイベントなどに参加して日田弁を話す日田の方と交流していきたいです。

◆ひた暮らして伝えたい事、知ってほしい事
行事へ参加することが重要だと感じています。その情報収集にはSNSも使いますが、まずは自治会の回覧板・広報ひた・数多ある情報誌等の紙媒体に加えて散歩途中のポスターも見逃せません。
興味をもった行事に顔を出してみたら、知る・遊ぶ・共感する等があり、結果的に人との繋がりが増えました。広く受け入れてくれる日田の方々に感謝しています。
移住するに際して、移住相談会に日田市が出席していることが有難かったです。移住は多少なりとも不安があるもの、行ってみて相談して不安解消できたので、移住を考えている方はぜひ活用してほしいです。



齊藤さんの作品は一点一点手作りで丁寧な仕上げ。経年変化も楽しめる自分だけの一点モノが見つかるかもしれません！